



いすぐみだより

2021年度 2月号

社会福祉法人尚徳福祉会 生麦保育園

1年で1番寒い季節がやってきました。朝おやつ後、すぐに園庭に出て遊ぶことが多いす組ですが、最近
は牛乳や麦茶を飲んだ直後で寒くなるのか、外に出ると「寒い…」とガタガタ震える子もいて、持ってきてい
ただいている上着の中にもう一枚着たり、厚手の服に着替えたりと様子を見て衣服調節してから戸外に出るよ
うにしています。園庭を走り回っているうちに頬に赤みが差してきて、元気に遊んでいます。

雪あそび



1月初め、生麦保育園にも雪が降りました。朝から寒い日でしたが、少しの時間でもと園庭で遊んでいたら、
空から雪が舞ってきて大騒ぎ！「うわぁー！」「雪だー」「キャー！」と空を見上げて大喜びでした。お昼寝後、
外が真っ白になっていて、いつもはなかなか起きられない子もすぐに飛び起き、「先生！雪だよ！」と興奮した様
子でした。翌日は朝から銀世界だったので、朝おやつ後すぐに園庭に出て雪遊び！雪を踏みながら歩くとザクザ
ク音がして、ゆっくり歩いて足の裏の感触を楽しんでいました。いつものように雪の上を走り回ってみると普段
の園庭とは違って滑ったり何度も転んでいました。保育者を真似て小さな雪だるまを作ってみたり、そう組のお
兄さんお姉さんを真似て雪合戦のように雪を投げてみたり、おもいきり楽しみました！



鬼のお面制作

2月の節分に向け、鬼のお面を作りました。何色の
鬼を作りたいか一人一人聞いてみると「赤鬼！」「ピン
クがいいな～」と様々でした。手形を取る時に手に絵の
具を塗ると、「くすぐったいー」「ふっふ」と笑いなが
らも絵の具を塗り終えるまで耐える子どもたち。鬼の髪に
はスタンプを押して、顔のパーツを糊で自由に貼って完
成！「鬼は外～♪福は内～♪」「鬼～のパンツはいいパ
ンツ～♪」と歌いながら、節分を楽しみにしているりす
組です。当日は泣いてしまうかな？鬼に豆を投げられる
かな？と子どもたちの様子を楽しみに
ドキドキワクワクしている担任一同です。



☆生活の変化☆

今までは乳児で小さかったりす組の子どもたちが
4月からは幼児クラスの仲間入り！今から少しずつ
自分でできることを増やしていけるように取り組ん
でいます。1月から生活時間が15分遅くなり給食
の時間が11時30分からになったので午前中たっ
ぷり遊べるように。今までは遊びが足りず「まだ遊び
たい！」と言っていた子も満足してお腹を空かせて
保育室に戻るようになりました。トイレは自己申告
で行けるように保育者からはなるべく声を掛けな
いようにしています。また、トイレではズボンやパンツ
を全て脱がず下に下ろすだけにしていますが、上手
く下ろせないと引っかけて濡らしてしまうことも
…。戸外遊びや給食で汚れたら着替えることも身
についてきて、「先生着替える？」と確認しています。
前後左右反対になってしまうこともあります。声
をかけるとすぐに直す子もいれば、気にせずそのま
まにする子と様々です。給食はフォークを下持ちで、
片方の手は皿に添えるように声をかけています。生
活の中のほんの少しのことですが、自分で取り組ん
でみたことに達成感を感じ自信に繋がっていくよう
に、残りの2ヶ月を過ごしていきたい
と思います。



歌や手遊びが大好きなりす組の子ども達！「お寺の
和尚さんが～♪」と今までは保育者と楽しんでいま
したが、最近は友だち同士で楽しむ姿が見られるよ
うになりました。最後のじゃんけんの勝ち負けはまだ難
しいものの、大人が介入しなくても楽しめるよ
うになっていることに大きく成長を感じています。これから
もたくさんの歌や手遊びを楽しんでいきたいです。

